

2022年2月18日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

認知症せん妄サポートチーム（DDST）の介入効果についての後方視的研究

2. 研究責任者

海南病院老年内科 野々垣 禪

3. 研究の概要

高齢者や認知症患者が入院中にせん妄を発症すると入院死亡率の上昇、ADL低下、在院日数の延長などにつながると報告され、せん妄の発症予防は高齢者診療においてとても重要です。当院では認知症せん妄サポートチーム(DDST)を発足し、せん妄リスク評価及びせん妄予防、せん妄発症後の重症化予防、身体抑制解除に向けての取り組みを行っています。本研究は2020年1月1日以降に入院時せん妄リスク評価を行いDDSTが介入した方を対象に、後方視的にカルテより患者背景、せん妄リスク評価、内服薬剤、認知症診断の有無、認知症自立度評価、せん妄発症の有無、せん妄発症期間、せん妄発症後のチーム介入内容、身体抑制の有無、身体抑制期間についての情報を集積し、DDSTのチーム介入効果を後方視的に明らかにするものです。

4. 研究方法

①対象となる患者さん

2020年1月1日～2022年1月31日までにDDSTが介入した方。2022年2月1日以降にDDSTが介入した方についても、適宜データの集積を行う予定です。

②使用する試料等

残余検体：なし

カルテ情報：患者背景、せん妄リスク評価、内服薬剤、認知症診断の有無、認知症自立度評価、せん妄発症の有無、せん妄発症期間、せん妄発症後のチーム介入内容、身体抑制の有無、身体抑制期間についての情報を使用します。

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 老年内科 野々垣 禪

電話：0567-65-2511（代表）